



榎本雅夫 議員

介護総点検の課題と取り組みは

質問

介護保険制度の施行から本年で10年を迎える。安心して老後を暮らせる社会実現は最重要課題だ。

公明党は、全国3千人を超える議員が、昨年11月から12月にかけて介護現場の声、約10万人の回答を得た。本市の介護保険開始からの課題と今後の取り組みは。

福祉部長

介護給付費が増加し、軽度者が急増している状況である。また、認知症高齢者の増加や一人暮らし高齢者や夫婦

のみの高齢者が増えている。

サービスは適切に利用しないと心身機能がかえって低下することも危惧されるので、サービスの質的問題が課題である。

今後、包括支援センターなどと連携して、ケアマネージャーの質的向上を図りながら対応していきたい。

質問

在宅介護サービスの現状と将来像は。

福祉部長

デイサービス、ホームヘルプサービス、福祉用具の貸与などが多くなっている。施設系の整備については、海部津島の圏域で考え、訪問介護など、利用意向の高いサービスについては充実していきたい。

質問

要介護認定制度の見直しで受けた影響は。

福祉部長

昨年4月の見直しで、混乱したので、10月以降、制度改正、認定制度なども改正があった。今後、注意深く見守っていく。

質問

介護保険の対象にならない高齢者への支援について、現状と取り組みは。

福祉部長

介護予防事業として、愛西おでかけサロンという名称で、簡単な体操や手芸などを6施設で実施している。

平成20年度は、144回、2千392人が参加した。

質問

介護家族や高齢者世帯に対する相談体制の取り組みは。また、介護施設の待機者の現状と、解消策は。

福祉部長

地域包括支援センターと、各地区にある在宅介護支援センターで、相談を受けている。

4つの特養ホームで146名の待機がある。海部津島の圏域の中で調整していく。

質問

高齢者の緊急対策の一つとして、一人暮らしの高齢者が安心して生活できるように、救急時に役立つ個人情報記載しておく、「安心カード」を実施しては。

福祉部長

有効な手法として各地で導入されているので、今後、実施に向けて検討していきたい。

